

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
美濃加茂市	古井地区	令和3年3月31日	

1. 対象地区の現状

①	地区内の耕地面積(意向アンケートの実施対象者の耕作面積の計)	321,788 m ²
②	アンケート等で回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	276,280 m ²
③	地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	139,259 m ²
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	20,488 m ²
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	28,991 m ²
④	地区内において今後中心経営体が引きうける意向のある耕作面積の合計	15,000 m ²
(備考)		

2. 対象地区の課題

・地区内の一部の集団化している農地について、農用地除外・農地転用により農地が「歯抜け」状態になってしまった。 ・水稻を主体とする新規就農者がいない。 ・「自分の代までは耕作する」という意見が多く、その後のことを考えられない方が多い。 ・1筆当たりの農地の面積が少ない箇所が多く、農地の集積に影響がある。
--

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・農地所有適格法人1社に対し、農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化を図る。 ・新規就農者の育成を図る。 ・多面的機能支払交付金事業等、地域で農地を守る施策を働きかけるとともに、事業を実施している地域については、引き続き活動を支援する。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者名 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引き受けの意向	
		経営作物	経営面積	経営作物	農業を営む範囲
認農法	農地所有適格法人(A)	水稻、大豆	86,000 m ²	水稻、大豆	美濃加茂市全域

※上にある団体の他、各地区で営農活動をしている認定農業者、新規就農者等が中心経営体として想定しています。